
青空と太陽

緑P

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青空と太陽

【Nコード】

N1206I

【作者名】

緑P

【あらすじ】

七海中学校に通う中学2年生森嶋和泉は、嫌々ながらも学校に通う。だが、そんな和泉に神様は罰を与えた。

プロローグ（前書き）

素人第1作目。

気軽に読んでくださいあ。

荒らしはお断りです。

ブログ

今日は五月一日。

中学生生活二年目、

私は悩んでいた。

友達はずまらない

学校もつまらない

親は五月蠅い。

そんな毎日に嫌気がさしていた。

なぜ私はこの世界に生まれてきたのだろう。

誰も私のことを理解してくれない。

相談事も親も友達も信用できないわけで・・・

だけど私は、いつか・・・

うつん、なんでもない。

―学校―

ちなみに私の名前は森嶋和泉^{モリシマイズミ}

特に仲がいいっていう友達がいるってわけじゃないけど、

一応仲良くしている人はいる。

？「和泉」！」

和泉「ん？」

彼女の名前は、高井菜摘^{タカイナツミ}

さっき言った【一応】仲良くしている人。

菜摘「今日席替えやるらしいよ」

和泉「まじで？！」

うちの学校、一か月に一回席替えするんだよね。

まあそれはそれでいいんだけど。

五月蠅い人と近くにならなければいいな・・・

ガラガラッ

和泉「なつみん近くになれるといいねー」

菜摘「うん」

そうして菜摘はいつものように机にカバンを置き、

保健室に行く。

授業をさぼりたいので保健室に逃げるそうだ。

でもなつみん家庭科の時だけくるんだよねえ。

裁縫ができるっていうアピールかなあ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1206i/>

青空と太陽

2010年10月14日02時02分発行